

# 2018年3月期 連結業績概要

常務執行役員  
山西 哲司

# 2018年3月期 通期決算のポイント

- 売上高は5期連続で過去最高を更新
- 営業利益は高周波部品事業の一部譲渡影響を吸収、実質増益を確保

↳売上高は前期比7.9%増、営業利益は前期比59.0%減。

↳受動部品は、自動車及び産業機器市場の旺盛な需要環境によりコンデンサの収益拡大が継続。  
車載用途の応用製品の販売が拡大。

↳センサ応用製品は、IoT市場など対象アプリケーションの拡大を見据え、  
製品及び顧客のポートフォリオを拡充し、ソリューションビジネス拡大のための基盤を強化。

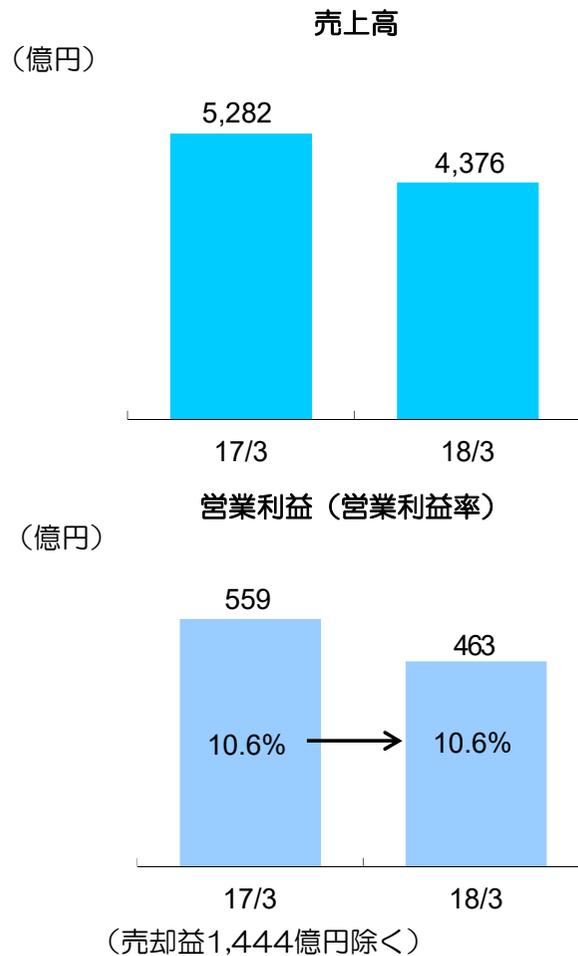
↳磁気応用製品は、HDDヘッドが数量減少ながら増益確保。  
電源及び磁石は、産業機器市場の需要拡大に適時対応し増収増益。

↳二次電池は、スマホ市場の大きな需要変動にも確実に対応、更に新規アプリケーション向け  
販売も着実に拡大し、売上、営業利益が3期連続で過去最高を更新。

# 2018年3月期 連結業績概要

(億円)	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 通期実績	前期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	11,783	12,717	934	7.9
営業利益	2,087	856	△ 1,231	-59.0
営業利益率	17.7%	6.7%		-
税引前利益	2,117	898	△ 1,219	-57.6
当期純利益	1,451	635	△ 816	-56.2
1株当たり利益 (円)	1,150.16	502.80	-	-
為替	対ドルレート (円)	108.46	110.93	2.3%の円安
	対ユーロレート (円)	118.92	129.64	9.0%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約 355億円の増収 営業利益：約 61億円の増益			

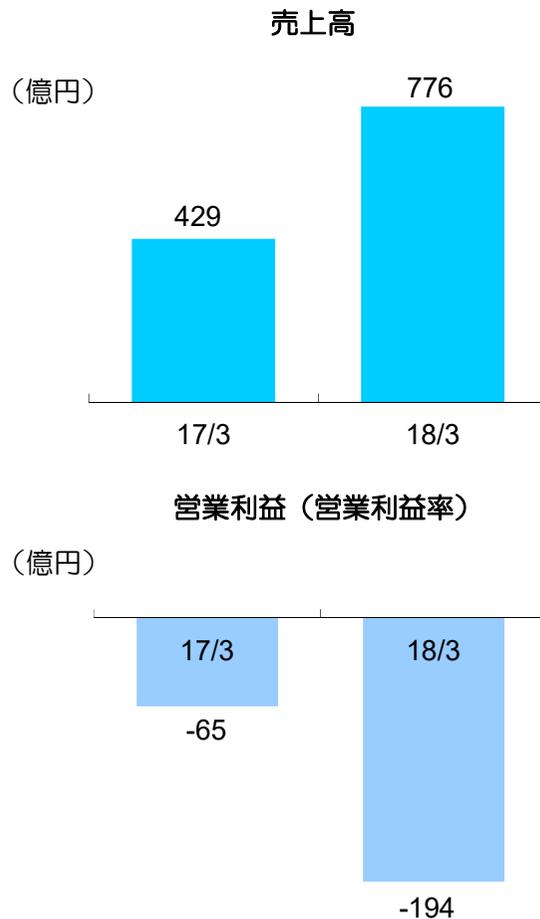
# 2018年3月期 各事業の状況（受動部品事業）



売上高 4,376億円 (前期比17.2%減)  
営業利益 463億円 (前期比17.2%減)

- セラミックコンデンサ
  - ⌢ 売上は前期比で増加。
  - ⌢ 自動車市場向け販売が増加。ICT市場向け販売は減少。
- インダクティブデバイス
  - ⌢ 売上は前期比で増加。
  - ⌢ 自動車市場及び産業機器市場向け販売が増加。ICT市場向け販売は減少。
- 高周波部品
  - ⌢ 一部事業譲渡の影響により前期比で減収減益。
- 圧電材料部品・回路保護部品
  - ⌢ 売上は前期比で増加。
  - ⌢ 自動車市場及び産業機器市場向け販売が増加。

# 2018年3月期 各事業の状況（センサ応用製品事業）

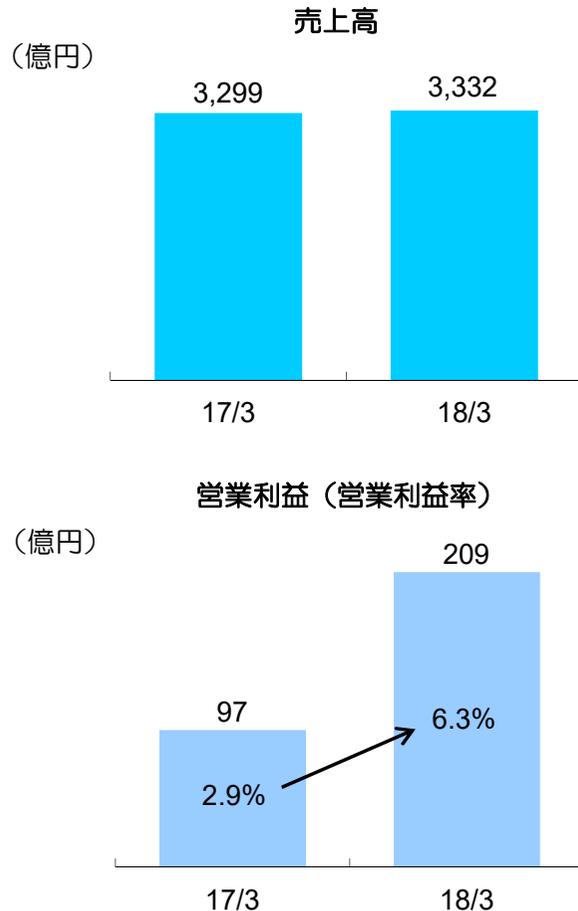


売上高 776億円（前年比80.9%増）  
営業利益 △194億円（前年比一%減）

## ● センサ

- 5月に買収完了のインベンセンス社の売上が連結され前年比で売上増。
- 磁気センサは、用途拡大が進みICT市場向け販売が増加。
- 営業利益は、インベンセンス社等の買収関連費用の計上で赤字拡大。
- 製品及び顧客のポートフォリオを拡充し、ソリューションビジネス拡大のための基盤を強化。

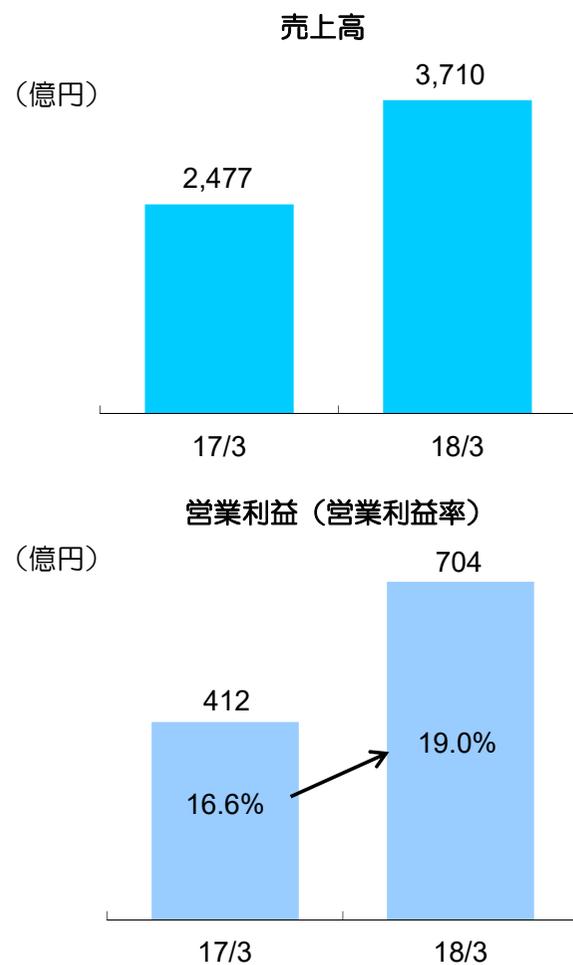
# 2018年3月期 各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 3,332億円（前期比1.0%増）  
営業利益 209億円（前期比115.5%増）

- HDDヘッド
  - 売上は前期比で減少。
  - サスペンションはHTI社買収により売上増。
- マグネット
  - 売上は前期比で増加し、収益性も改善。
  - 風力発電、産業機器等の用途向けで売上増。
- 電源
  - 産業機器市場向け販売が好調に推移し、前期比で増収増益。
  - 半導体製造装置、ロボティクス関連用途向け等が好調。
  - 新製品の市場投入により収益性改善。

# 2018年3月期 各事業の状況（フィルム応用製品事業）



売上高 3,710億円（前期比49.8%増）  
営業利益 704億円（前期比70.9%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
  - ↳ 前期比で増収増益。
  - ↳ ICT市場向けの販売が好調に推移。
  - ↳ ドローン、ゲーム機等の新規アプリケーション向けの販売も拡大。

# 2018年3月期 セグメント別通期実績

		2017年3月期 通期実績		2018年3月期 通期実績		前期比	
		金額	%	金額	%	増減	増減率 (%)
売上高	(億円)						
	コンデンサ	1,368	11.6	1,570	12.3	202	14.8
	インダクティブデバイス	1,453	12.3	1,575	12.4	122	8.4
	その他受動部品	2,461	20.9	1,231	9.7	△1,230	△ 50.0
	受動部品合計	5,282	44.8	4,376	34.4	△906	△ 17.2
	センサ応用製品合計	429	3.6	776	6.1	347	80.9
	記録デバイス	2,423	20.6	2,379	18.7	△44	△ 1.8
	その他磁気応用製品	876	7.4	954	7.5	78	8.9
	磁気応用製品合計	3,299	28.0	3,332	26.2	33	1.0
	フィルム応用製品合計	2,477	21.0	3,710	29.2	1,233	49.8
	その他	296	2.5	523	4.1	227	76.7
合計	11,783	100.0	12,717	100.0	934	7.9	
営業利益	受動部品	2,003	37.9	463	10.6	△1,540	△ 76.9
	センサ応用製品	△65	-	△194	-	△129	-
	磁気応用製品	97	2.9	209	6.3	112	115.5
	フィルム応用製品	412	16.6	704	19.0	292	70.9
	その他	△73	-	△24	-	49	-
	小計	2,374	20.1	1,158	9.1	△1,216	△ 51.2
	全社および消去	△288	-	△301	-	△13	-
	合計	2,087	17.7	856	6.7	△1,231	△ 59.0

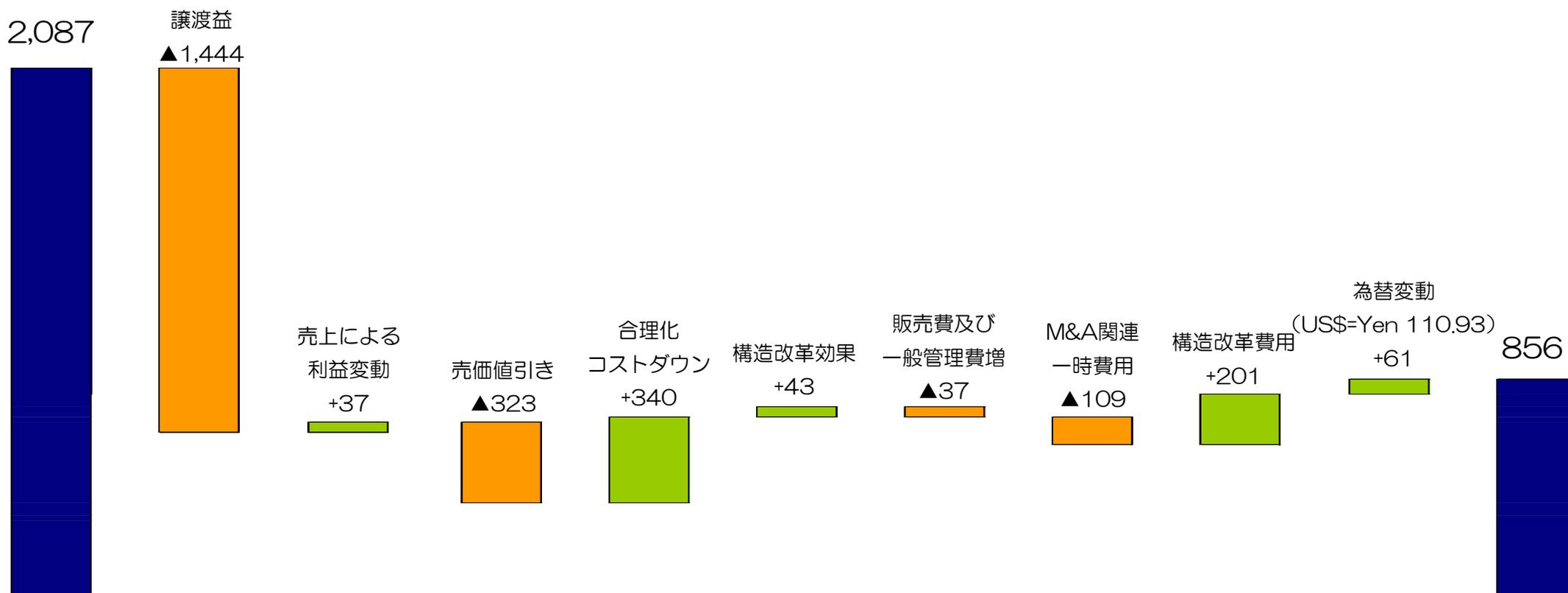
# 営業利益増減分析

2017年3月期  
2,087億円

営業利益 ▲1,231億円

2018年3月期  
856億円

(単位：億円)



# 2018年3月期 セグメント別四半期実績

(億円)		2017年3月期 第4四半期 (A)	2018年3月期 第3四半期 (B)	2018年3月期 第4四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	350	401	414	64	18.3	13	3.2
	インダクティブデバイス	376	403	392	16	4.3	△ 11	△ 2.7
	その他受動部品	407	323	293	△ 114	△ 28.0	△ 30	△ 9.3
	受動部品合計	1,133	1,127	1,099	△ 34	△ 3.0	△ 28	△ 2.5
	センサ応用製品合計	115	216	194	79	68.7	△ 22	△ 10.2
	記録デバイス	630	623	570	△ 60	△ 9.5	△ 53	△ 8.5
	その他磁気応用製品	229	246	237	8	3.5	△ 9	△ 3.7
	磁気応用製品合計	859	869	807	△ 52	△ 6.1	△ 62	△ 7.1
	フィルム応用製品合計	544	1,059	819	275	50.6	△ 240	△ 22.7
	その他	92	141	151	59	64.1	10	7.1
	合計	2,743	3,411	3,071	328	12.0	△ 340	△ 10.0
営業利益	受動部品	1,467	123	113	△ 1,354	△ 92.3	△ 10	△ 8.1
	センサ応用製品	△ 22	△ 39	△ 48	△ 26	-	△ 9	-
	磁気応用製品	△ 73	83	16	89	-	△ 67	-
	フィルム応用製品	50	236	128	78	156.0	△ 108	△ 45.8
	その他	△ 22	△ 4	△ 11	11	-	△ 7	-
	小計	1,400	399	198	△ 1,202	△ 85.9	△ 201	△ 50.4
	全社および消去	△ 82	△ 75	△ 89	△ 7	-	△ 14	-
合計	1,318	324	109	△ 1,209	-	△ 215	△ 66.4	
営業利益率		48.0%	9.5%	3.5%	-44.5pt	-	-6.0pt	-
為替	対ドルレート (円)	113.85	112.97	108.49				
	対ユーロレート (円)	121.25	133.00	133.25				

# セグメント区分の変更について

従来の「受動部品」「センサ応用製品」「磁気応用製品」及び「フィルム応用製品」の4つの報告セグメントが、2019年3月期より「受動部品」「センサ応用製品」「磁気応用製品」及び「エネルギー応用製品」に変更となります。これらの報告セグメントとそれらに属さない「その他」に分類します。

## 現報告セグメント

受動部品

センサ  
応用製品

磁気  
応用製品

フィルム  
応用製品

+

その他

## 新報告セグメント

受動部品

センサ  
応用製品

磁気  
応用製品

エネルギー  
応用製品

+

その他

パワーシステムズ（磁気応用製品）  
エネルギーデバイス（フィルム応用製品）  
エネルギーシステムズ（その他）

# 将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競争条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載いたします。  
[http://www.tdk.co.jp/ir/ir\\_events/conference/2018/4q\\_1.htm](http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2018/4q_1.htm)